



# K 中 通 信

学 校 だ よ り 2 号  
令 和 4 年 4 月 2 0 日  
横 浜 市 立 軽 井 沢 中 学 校

【学校教育目標】『主体的に考え行動し、未来を切り拓く生徒の育成をめざします』

- 様々な関わりを通し、よりよく解決する力を育てます (知・徳・公)
- 持続可能な社会の実現を目指し、しなやかに生きる力を育てます (体・開)

学校ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/jhs/karuizawa/>

## 目標に向かう道筋

校長 佐藤 由利

新年度がスタートして3週目に入りました。2、3年生には始業式で、「変化」に対する不安な気持ちをもつのはあたりまえのこと。けれど、「変化」は「成長」のチャンスでもある。変化に対する不安よりも、成長する自分への期待が少しでも大きくなるという話をしました。けれど実際は、そんなに簡単なことではないかもしれません。新しい人間関係にまだ慣れない、という人もいます。でも、必ず前に進めます。焦らず自分のペースで少しずつ進んでいきましょう。

先日2年生の某クラスの学級通信を手にとってみたら、「こんな一年にしたいな」というタイトルで、一人ひとりの目標が短い文章で書かれていました。どれも書いた人の姿が見えてくるような気がして、微笑ましく、ひとつひとつじっくり読んでしまいました。それぞれ「この部分をもう少しがんばろう。」「こんなことに取り組んでみよう。」と「今の自分」と「なりたい自分」について考えたのだということが伝わってきました。良い意味で背伸びせず、取り組みやすい課題や目標が多かったようにも思います。「取り組もう」と思ってた目標なのでしょう。あたりまえのことで、大切なことです。

この時期、みなさんはいろいろな場面で「目標」や「スローガン」を考えるとと思います。目標が決まるまで、一生懸命考える過程も大切だけれど、時として決まったらそこがゴールのようになってしまうことはありませんか？せっかく決めた目標がただの「お飾り」にならないように、その目標にどんな風に向かっていけば良いかということをしっかり考え、目標を達成した先にある自分(達)の姿を、イメージしてみたいと思います。

また、取り組む過程で、仮にうまくいかないことがあっても、それで自分をあきらめたりしないことです。毎日やろう、と思ったことができなくても、「またやろう」と思えばいいのです。たとえ「3日坊主」でも、また気を取り直して3日、やってみる。それを繰り返せばいいのです。

そして、「こんな一年にしたいな」と考えたことは、時々、「この調子だと、どんな一年になりそうかな」と振り返ることも大事です。「では、こうしてみよう」と。

この4月、みなさんは、個人の目標、クラスの目標、委員会の目標、行事の目標、部活の目標……  
いくつの場面でどんな目標をたてましたか？その目標にどんな風におかっていますか？